

2008年1月8日

関東自動車工業株式会社長年頭挨拶（要旨）

関東自動車工業株式会社は、仕事始めの1月7日（月）東富士総合センターにて、安田社長より、従業員へ年頭挨拶を行いました。つきましては、挨拶の要旨をご案内申し上げます。

記

昨年台数の面では、新潟県中越地震による影響も柔軟な生産対応により最小限に抑えられたとともに、カローラセダンの輸出、カローラルミオンなどの新型車導入によって、当初計画を大きく上回る約59万台（東富士：23万台、岩手：36万台）を生産し、2年連続して過去最高を更新いたしました。

一方、開発から生産まで一体となったモノづくりという点からは、さらなる改善の余地や課題が見えて来た年でもありました。

今年は、グローバルな経営環境で、資源・資材価格の高騰や米国経済の減速等の不安要素がある一方、BRICs や中近東などでは引き続き高レベルの経済成長が見込まれております。このような環境下、リスクをキャッチして適切に対応していくこと、チャンスを見極めて積極的に掴み取ることが重要であると考えております。

そこで今年は、2010年までの中期計画 Active10 の2年目として、国内を中心に仕事をして来た当社が、『従来の殻を破って』、『グローバルなフィールドにチャレンジ』していく節目となります。そこで、次の二つのことに取り組んでまいります。

一つは、今後の海外事業展開に向けては、カンジコー・ド・ブラジルの事業の完遂を実現することです。もう一つは、国内での車両生産において、品質、コスト等あらゆる面でダントツの競争力をもったモノづくりを実現し「年度の計画台数を確実に造り切ること」です。

これらを確実に進め、持続的な成長に繋げていくために三つの狙いで組織の改編・強化を行ないます。第一は、マネジメントの徹底です。TQM 活動に体系的に取り組み、仕事の質と組織の活力を高めてまいります。第二は、企画の強化です。総合企画、海外事業企画を強化し、国内外での事業領域の拡充を進めてまいります。第三は、技術・技能の強化です。開発企画部を新設し、当社の全技術領域の連携強化、自主開発の促進を図るとともに、「技能開発推進センター」を新設し、高度な技能育成に取り組んでまいります。

我々の特徴である「一貫体制におけるモノづくり」を一層深め、将来の成長を描いて力を蓄え、成長に向けた基盤を築き、実り多い1年にしてまいります。

以上